



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社
 コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石渡 恒夫
 (氏名) 廣川 雄一郎

TEL 03-3280-9135

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	69,729	3.8	4,463	62.9	3,406	181.4	727	608.3
24年3月期第1四半期	67,188	△9.0	2,739	△49.1	1,210	△68.8	102	△91.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 403百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △132百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.32	—
24年3月期第1四半期	0.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	972,347	185,912	19.1
24年3月期	964,303	187,187	19.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 185,487百万円 24年3月期 186,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	147,000	3.7	10,300	18.8	7,700	37.1	3,000	33.5	5.44
通期	311,000	5.3	18,500	△2.6	12,600	△2.2	8,000	94.2	14.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	551,521,094 株	24年3月期	551,521,094 株
25年3月期1Q	189,576 株	24年3月期	184,959 株
25年3月期1Q	551,335,154 株	24年3月期1Q	551,350,158 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考)

平成 25 年 3 月期の個別業績予想(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,500	9.0	4,300	△23.6	2,000	△49.7	3.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
【第1四半期連結損益計算書（前年同期比較）】	11
【セグメント情報（前年同期比較）】	12
【鉄道運輸成績】	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）のわが国経済は、欧州政府債務危機などを背景とした海外景気の下振れや、原油価格の上昇などにより、先行きは不透明な状況にあるものの、東日本大震災の復興需要などにより、緩やかな回復傾向がみられました。

このような事業環境のなか、当社グループは、重要な戦略拠点である羽田空港を中心に各事業で営業を推進し、経営基盤の強化に努めました。また、公共交通機関をはじめとしたライフラインを担う企業集団として、引き続き安全・安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は697億2千9百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は44億6千3百万円（前年同期比62.9%増）、経常利益は34億6百万円（前年同期比181.4%増）、四半期純利益は7億2千7百万円（前年同期比608.3%増）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、空港線の需要拡大に努め、海外の旅行会社などと共同で国内外において積極的に旅客誘致を図るとともに、訪日旅客を対象に企画商品を販売しました。また、「京急&東京スカイツリー周辺散策フリーきっぷ」を発売するなど、当社線の利用促進に努めました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、警察や消防と連携した訓練等を継続して実施したほか、連続立体交差化工事を進め、京急蒲田駅付近では高架化工事を、大師線では地下化工事を推進しました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス(株)は、羽田空港などへの輸送力増強に対応するため、横浜市神奈川区に新たに営業所を開業しました。また、羽田空港のアクセス向上を図るため、羽田空港～錦糸町駅・東京スカイツリータウン線の運行を開始しました。さらに、横浜駅（YCAT）～葉山線の運行を開始し、葉山地区の利便性向上を図りました。このほか、京浜急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は、横浜駅および川崎駅から木更津市に開業した大型商業施設に向かう路線の運行を開始しました。

タクシー事業では、京急交通(株)は、羽田空港国際線ターミナルと各地を結ぶ定額運賃制タクシーの対象地区を鎌倉地区、逗子地区および葉山地区まで拡大し、新規顧客の開拓を図りました。

以上の結果、交通事業の営業収益は285億4千4百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は34億4千1百万円（前年同期比37.2%増）となりました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、他社と共同で、引き続き大師線港町駅前において大規模分譲マンション「リヴァリエ」の1棟目を販売しました。また、京急不動産(株)は、分譲マンション「プライム横浜生麦」の販売を開始しました。

不動産賃貸業では、品川駅前の複合施設「SHINAGAWA GOOS」などが好調に稼働しました。

しかしながら、主要テナントの退去を機に京急第1ビル高層棟のリニューアル工事を実施したため、賃貸収入が減少し、不動産事業の営業収益は43億7千4百万円（前年同期比11.8%減）、営業損失は3千2百万円（前年同期は営業利益2億8千8百万円）となりました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック L E D A I B Aは、レジャー需要の回復や近隣の大型商業施設の新規開業などにより、好調に稼働しました。また、京急E Xインは、「京急E Xイン 品川駅前」をはじめ、各館が好調に稼働しました。

レジャー施設業では、京急開発(株)は、羽田空港の早朝の航空便にあわせて「天然温泉 平和島」から運行している羽田空港国際線ターミナルへの無料バスを増発するなど、施設の利用促進を図りました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は100億7千4百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は8億円（前年同期は営業損失7億1千7百万円）となりました。

流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、集客力の強化を図るため、上大岡駅に直結する1階の改装工事を開始しました。また、新たにお中元のオンラインショップを開設し、販売機会の拡大に努めました。

ストア業では、(株)京急ストアは、新業態の小型店舗「京急ストア グロッサリーマーケット 伊勢佐木町店」を開業したほか、新川崎店などが引き続き好調に推移しました。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、羽田空港国際線ターミナル店をはじめ、セブーンイレブンに転換した販売店が好調に推移しました。

以上の結果、流通事業の営業収益は273億6千3百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は2億1千7百万円（前年同期比28.5%減）となりました。

その他

京急建設(株)および京急電機(株)は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行いました。また、(株)京急ファイnteックは、車両の更新工事等を行いました。

しかしながら、京急建設(株)で前年同期に大型工事を竣工したことの反動などにより、その他の事業の営業収益は80億5千1百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益は8百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより前連結会計年度末と比べ80億4千4百万円増加しました。

負債は、コマーシャル・ペーパーの発行などにより前連結会計年度末と比べ93億1千9百万円増加しました。

また、純資産は、四半期純利益による増加はありましたが、剰余金の配当などにより前連結会計年度末と比べ12億7千5百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想について、第1四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、減損損失の計上はありますが、営業費の減少や営業外損益の改善などを見込むため、当期純利益は前回予想（平成24年5月9日公表）を据え置いております。

平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率 (%)
営業収益	147,000	147,000	—	—
営業利益	9,500	10,300	800	8.4
経常利益	6,700	7,700	1,000	14.9
四半期純利益	3,000	3,000	—	—

平成25年3月期通期連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率 (%)
営業収益	311,000	311,000	—	—
営業利益	17,700	18,500	800	4.5
経常利益	11,500	12,600	1,100	9.6
当期純利益	8,000	8,000	—	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

減価償却方法の変更

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,134	38,314
受取手形及び売掛金	12,581	11,590
商品及び製品	2,487	2,689
分譲土地建物	85,527	88,511
仕掛品	2,362	3,188
原材料及び貯蔵品	553	604
繰延税金資産	1,818	2,360
その他	6,010	7,441
貸倒引当金	△50	△31
流動資産合計	143,427	154,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	294,283	300,683
機械装置及び運搬具(純額)	39,664	41,008
土地	149,000	147,400
建設仮勘定	247,186	236,782
その他(純額)	7,287	7,292
有形固定資産合計	737,422	733,167
無形固定資産		
のれん	3,901	3,841
その他	6,875	6,676
無形固定資産合計	10,776	10,518
投資その他の資産		
投資有価証券	35,720	36,395
長期貸付金	2,318	2,248
繰延税金資産	10,902	11,761
その他	23,908	23,756
貸倒引当金	△173	△168
投資その他の資産合計	72,677	73,993
固定資産合計	820,876	817,678
資産合計	964,303	972,347

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,067	25,917
短期借入金	136,002	135,866
コマースヤル・ペーパー	—	20,000
1年内償還予定の社債	171	350
未払法人税等	3,432	1,787
繰延税金負債	92	—
前受金	5,307	5,881
賞与引当金	1,312	1,639
役員賞与引当金	128	—
その他	25,486	26,477
流動負債合計	206,000	217,919
固定負債		
社債	100,394	100,139
長期借入金	265,830	259,114
繰延税金負債	587	585
退職給付引当金	6,342	6,525
役員退職慰労引当金	726	695
長期前受工事負担金	169,595	174,964
その他	27,638	26,490
固定負債合計	571,115	568,515
負債合計	777,115	786,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,157	44,157
利益剰余金	98,644	97,717
自己株式	△132	△135
株主資本合計	186,408	185,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344	8
その他の包括利益累計額合計	344	8
少数株主持分	435	425
純資産合計	187,187	185,912
負債純資産合計	964,303	972,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	67,188	69,729
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	55,780	56,750
販売費及び一般管理費	8,667	8,514
営業費合計	64,448	65,265
営業利益	2,739	4,463
営業外収益		
受取利息	32	24
受取配当金	215	188
持分法による投資利益	113	278
原状回復負担金収入	—	191
その他	187	211
営業外収益合計	549	894
営業外費用		
支払利息	1,947	1,854
その他	131	97
営業外費用合計	2,079	1,952
経常利益	1,210	3,406
特別利益		
工事負担金等受入額	47	43
特別利益合計	47	43
特別損失		
減損損失	—	1,702
固定資産除却損	—	580
固定資産圧縮損	47	43
投資有価証券評価損	214	—
特別損失合計	261	2,327
税金等調整前四半期純利益	996	1,122
法人税、住民税及び事業税	1,533	1,703
法人税等調整額	△645	△1,319
法人税等合計	887	383
少数株主損益調整前四半期純利益	108	739
少数株主利益	6	11
四半期純利益	102	727

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108	739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△241	△335
その他の包括利益合計	△241	△335
四半期包括利益	△132	403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△138	392
少数株主に係る四半期包括利益	6	11

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	27,165	3,369	7,317	26,128	3,207	67,188	—	67,188
セグメント間の内部営業収益又は振替高	444	1,591	1,092	523	5,673	9,325	△9,325	—
計	27,610	4,961	8,409	26,651	8,880	76,513	△9,325	67,188
セグメント利益又は損失(△)	2,509	288	△717	304	306	2,691	47	2,739

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	28,022	2,686	8,995	26,978	3,046	69,729	—	69,729
セグメント間の内部営業収益又は振替高	522	1,688	1,078	384	5,005	8,679	△8,679	—
計	28,544	4,374	10,074	27,363	8,051	78,408	△8,679	69,729
セグメント利益又は損失(△)	3,441	△32	800	217	8	4,435	28	4,463

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レジャー・サービス事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、1,702百万円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

【第1四半期連結損益計算書(前年同期比較)】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	67,188	69,729	2,541	3.8
II 営業費	64,448	65,265	817	1.3
1. 運輸業等営業費及び売上原価	55,780	56,750	970	1.7
2. 販売費及び一般管理費	8,667	8,514	△153	△1.8
営業利益	2,739	4,463	1,723	62.9
III 営業外収益	549	894	345	62.9
1. 受取利息	32	24	△7	△23.2
2. 受取配当金	215	188	△27	△12.5
3. 持分法による投資利益	113	278	164	144.4
4. 原状回復負担金収入	—	191	191	—
5. その他	187	211	23	12.8
IV 営業外費用	2,079	1,952	△126	△6.1
1. 支払利息	1,947	1,854	△92	△4.8
2. その他	131	97	△33	△25.6
経常利益	1,210	3,406	2,195	181.4
V 特別利益	47	43	△3	△8.0
1. 工事負担金等受入額	47	43	△3	△8.0
VI 特別損失	261	2,327	2,065	789.9
1. 減損損失	—	1,702	1,702	—
2. 固定資産除却損	—	580	580	—
3. 固定資産圧縮損	47	43	△3	△8.0
4. 投資有価証券評価損	214	—	△214	△100.0
税金等調整前四半期純利益	996	1,122	126	12.7
法人税、住民税及び事業税	1,533	1,703	170	11.1
法人税等調整額	△645	△1,319	△674	—
法人税等合計	887	383	△503	△56.8
少数株主損益調整前四半期純利益	108	739	630	578.8
少数株主利益	6	11	5	82.2
四半期純利益	102	727	625	608.3

【セグメント情報(前年同期比較)】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	27,610	28,544	934	3.4
営業利益	2,509	3,441	932	37.2
不動産事業				
営業収益	4,961	4,374	△587	△11.8
営業利益又は営業損失(△)	288	△32	△321	—
レジャー・サービス事業				
営業収益	8,409	10,074	1,664	19.8
営業利益又は営業損失(△)	△717	800	1,517	—
流通事業				
営業収益	26,651	27,363	711	2.7
営業利益	304	217	△86	△28.5
その他				
営業収益	8,880	8,051	△828	△9.3
営業利益	306	8	△298	△97.3
合計				
営業収益	76,513	78,408	1,895	2.5
営業利益	2,691	4,435	1,743	64.8
調整額				
営業収益	△9,325	△8,679	645	—
営業利益	47	28	△19	△40.5
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	67,188	69,729	2,541	3.8
営業利益	2,739	4,463	1,723	62.9

【鉄道運輸成績】

科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	7,495	7,479	△16	△0.2
定期外	10,461	10,945	483	4.6
計	17,957	18,424	467	2.6
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	62,591	62,773	182	0.3
定期外	45,848	47,617	1,769	3.9
計	108,439	110,390	1,951	1.8